

第四十九日目

師 範：イギリスはインドからアヘンをえて、中国からの茶や陶磁器などの支払いにあてました。

麻薬を買わせて、その代金を輸入品の支払いにするというものでした。

まともに買っていると大変な銀がイギリスから流失してしまうからという理由でした。



清国が麻薬を禁止しているにもかかわらず、どんどん中毒になった人は増えました。

このアヘンの積荷をおさえて燃やしてしまったところ、イギリスが怒って戦いになったのです。1840年のアヘン戦争です。

清国はイギリスに敗北して、賠償金や香港を奪われ、自由貿易ができるような港を五つ開かされました。

さらに治外法権を認めさせられ、関税自主権を失いました。不平等な条約でした。1842年に調印しました。

江戸幕府はオランダからの情報で、この戦争と条約のことを知りました。

1840年 アヘン戦争が始まる。

この年を覚えましょう。

コン太：では、ひとつ



「清の人走れ イギリス・アヘンと戦え」

というのはいかがでしょうか。

「ひと」は1、「はしれ」は840を読みかえました。

師 範：勢いとふんい気が出ていいですね。少し直して

「人走れ アヘン戦争 広東へ」

まいりました。



師 範：ペン太君は「まいりました」が、早いですね。